

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 8 号	2001年12月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：西原 一誠
---------------------------	-----------	---

1. 活動報告（事務局 塩谷 記）

- 12月1日 第2次植栽のつづき（その2）です。今回は、善和の小林さんの山から、大事なナツツバキが、引越して来ました。きっとすばらしい、シンボルの木になることでしょう。湿地帯などにも、木を植えました。
- 12月5日 広島県本郷町のみなさん10人が視察に来られました。北村会員の説明の後、ビオトープを見学されました。「ボランティアの方の馬力はすごいですね」と感嘆の声。峯岡さんはじめ、本郷町のみなさんのご活躍をお祈りします。
- 12月8日 植栽はこの日でおおむね終わりました。8mのシイなど大きな木5本、山桜など小さな木を沢山植栽しました。来年の春、植栽した木がいつせいに芽吹き始めたら、素晴らしい景観となるでしょう。集中的に植栽した湿地には日陰ができ、水ゴケなどには最適な環境になるでしょう。ベンチに座られた見学者には木が直射日光をさえぎってくれます。
- 12月11日 二俣瀬小学校3年生13名と担任の時乗先生が楽しいビオトープ新聞を作られました。写真もふんだんに使われ、大人が見ても十分楽しめる新聞です。内容も3年生自身が取材に来られ、写真を撮られ、自分たちの表現できめ細かく記事が書かれています。そして豊富な内容に圧倒されます。
- 12月12日 山口県立宇部西高等学校総合学科2年のみなさん37名が視察に来られました。吉本正会員、林弘之会員の説明の後、ビオトープへ。この日は大変寒く、朝、水車につららが下がっていました。でも高校生は元気そのもの、里山の中腹まで登られた生徒さんも。視察も終わり、吉本・林会員の見送りに笑顔で手を振って、次の目的地に行かれました。伊藤顕一先生お疲れ様でした。
- 12月12日 総会。延び延びになっていた竣工式の日程が「3月24日（日）」に決定しました。まず役員改選を行い、今井会長、原田副会長、原副会長を再選しました。また、宇部地域環境パートナーシップ会議の会長に今井会長が選出されたことも報告されました。続いて事務局よりパートナーシップ事業の具体的な事業計画がなされました。3月16日に岡山大学で行われる日本水環境学会へ会員2名を派遣する。マルチメディア教材の製作については、会員の参加がまだ足りないので、ぜひ参加して欲しい旨が報告されました。新たなパンフレット製作については、総会で再度話し合うことが決まりました。
- 12月15日 二俣瀬小学校の児童65人と先生方10人、それに会員と地域の人、行政関係が加わり総勢120人以上の「大もちつき大会」がありました。外では昔ながらの「だいがら」でもちつき、会員と児童がだいがらの上に上がり、足でキネを踏んでいきます。ペタ、ペタとつく音、「はよーせんと、もちが固くなる」と追いまくられていました。
- 12月15日 午後1時から来年1月から工事に入る遊歩道の下見、市民センター裏から山に登っていきます。黒竹の群生や多くの珍しい植物が発見されます。「これは素晴らしい遊歩道になる」「親子で弁当を持ってきて、半日楽しめる」と会員は完成を楽しみにしています。来年1月から会員はチェーンソー、草刈機、かまをもって遊歩道の設置に入ります。
- 12月15日 午後3時から忘年会、弁当とシシ鍋をおかず一杯やります。この一年間の思いで、全員がマイクを持って発言します。一人一人の発言に「そうだったな、あの時は苦労した」とあいつち。一輪車ごと川に転落したり、マムシをつかんだり、けれど全員笑顔、一年の苦労を洗い流す忘年会です。やさしさに包まれた忘年会でした。
- これまでの若干の総括。造成工事・植栽作業については、会員のみなさんの驚くべき熱意と努力や地域・地元企業の支えでほぼ完成しつつあります。来年の春、木に新芽が出始めたら、ビオトープの状況は一変するでしょう。そして、当初からクリアすべき4つの課題を会員は難なくクリアしていききました。会報の発行、もう8号になります。看板、手書きで味のあるあたたかい看板が設置できました。ホームページ、7月23日にアクセスを開始、4,500件を超えています。パンフレット、会員が原案を作成し、企業の協力で2万部印刷され全小学校に配布、きらら博でも配布しました。これほどの能力とエネルギーを持っておられる会員は他の団体と比しても、誇れるものです。遊歩道も含め、もうひとふんばりです。がんばりましょう。

2. 今後の予定（事務局 塩谷 記）

- 1月16日（水） 総会
- 19日（土） 遊歩道設置作業開始
- 26日（土） 遊歩道設置作業

3. ビオトープ関連（一口メモ）

- “二俣瀬ビオトープにおけるトンボ相について...第6回” （原 隆 記）
- ・ 11月23日（金）晴れ 12時～14時。今日は、秋晴れのとてもいい天気です。少し朝方は冷え込んできたけど、日中はいい天気が続いています。今日確認したトンボ。ノシメトンボ...1♂、ナツアカネ...3♂1♀、マユタテアカネ...1♂、キトンボ...4♂1♀（その内、交尾産卵個体1ペア確認...止水の池）。今日、キトンボ1♂を橋の上にじっと止っているところを、素手で捕まえました。たぶんのんびりと日向ぼっこしていてうっかりしていたのでしょう。キトンボは、結構機敏な動きをするアカトンボなので、私もびっくりしました。それから、以外と人に慣れているようにもみられます。たぶん、ネットを持ってトンボを追いかけている人がいないからかもしれません。もし、そうだったらもっと深く研究したら面白いかも知れません。アカトンボの中でも、キトンボは翅がオレンジ色していて綺麗で私は、とても好きです。今日、連結産卵していたので来年は、沢山見られるはずですよ。

- ・ 12月1日（土）晴れ 13時～15時。もう12月になりました。近頃朝方めっきり寒くなりました。昼間は、少し暖かい日もあります。そんな時トンボが、チョロチョロ飛んでいるのが見られます。今年もあと何日トンボが見られるか楽しみだし、少し寂しくもあります。今日確認したトンボ。ナツアカネ... 5♂、他は、見られず...。池の中を、網でゴソゴソッとヤゴすくいして見ました。トンボのヤゴやヤンマのヤゴそしてイトトンボのヤゴが沢山入りました。これから、冬場はヤゴの調査が、ほとんどになって来ます。でも、越冬できるトンボも日本には、3種類います。イトトンボの仲間ですが暖かい風の無い日なんか、小さな小枝や草に止っています。しかし、体が褐色しているのと小さいのとで探すには苦労します。ピオトープ内には3種類確認しているので、いるはずです。時間があれば、じっくり探してみてもいいですか？
- ・ 12月2日（日）晴れ 10時～12時。今日も、風の無いいい天気ですが、少しひんやりします。今日確認したトンボ。ナツアカネ... 5♂、キトンボ... 10♂、リスアカネ... 2♂。じっと、静かに暖かい陽の差すところに止っています。もうどの個体も老熟で、翅がボロボロになっているトンボもいます。ぐるっと一回りして11時頃になって急に暖かくなって来たてもう一回りしたらキトンボが、出てきていました。まだまだ元気いっぱいみたいで池の上で縄張りを一生懸命張ってました。それから、もう一回りしたら、なんとリスアカネがハス池のそばの板にひょこんと止っていました。キトンボの数も増えていました。雄どうしが池の中で追いかけていました。それから、もう一回りはしませんでした。
- ・ 12月8日（土）晴れ 13時～14時。今日は、朝とても寒かったです。風も少しあって日中も肌寒く感じました。今日来たら植採の作業をされていていました。申し訳なく感じましたが...今日はカメラにトンボを収めたかったから参加できませんでした。寒い中、大変お疲れ様でした。今日確認したトンボ。ナツアカネ... 3♂ 1♀（交尾個体1ペア確認...田んぼ内）キトンボ... 2♂。寒いのに、人もトンボも頑張っています。
- ・ 12月15日（土）晴れ 12時～14時。冬将軍が、やって来ました。昨日、初雪を見ました。今日確認したトンボ。...今のところ無し、風がやんで陽がさすと思えるのですが...。こんな日は、すごくつらいです。
- ・ 12月20日（木）晴れ 11時～12時 気温15℃。今日は平日ですが、近くまで来たので寄ってみました。今日は、いい天気で風も無く絶好のトンボ日和です。そう考えて期待しつつ来たら思った通りでした。キトンボが沢山飛んでいました。そして、コノシメトンボやナツアカネもわずかに生き残っていました。こんな日は、最高にいい気分です。今日確認したトンボ。ナツアカネ... 1♂、キトンボ... 8♂（♀も多分周辺の草地にいるはずですが）、マユタテアカネ... 1♂。日ごと、寒くなって行きますが、果たして終見日はいつなのか、これから来る度に楽しみです。ちなみに、キトンボの終見日は、図鑑等によると、翌年の1月4日です。記録の更新に期待してます。みなさんの情報も、期待して待ってます。

— 前回に引き続き今回も水上や水中に花を咲かせる植物を紹介します。（北村 健治 記）

<第四回> * ミズアオイ（ミズアオイ科ミズアオイ属）

池沼などに生える一年草。葉の形が葵に似ているのでこの名がある。葉は厚く長い柄がありつやがある。花は青紫で3センチ位で9月頃開花する。この「里山ピオトープ二俣瀬」では、植栽してはいないはずであるが自生している。

* コナギ（ミズアオイ科ミズアオイ属）

ミズアオイの草丈を小さくしたような形でミズアオイと同じ池沼や水田などに生える一年草。花は葉より低く1～2センチ位でミズアオイより少し紫がかかる。開花はミズアオイと同じで9～10月。非常に根強い草でなかなか絶滅しません。「里山ピオトープ二俣瀬」ではミズアオイと同じく植栽してはいないはずであるが、蓮田や湿地に無数に自生している。

* アギナシ（オモダカ科オモダカ属）

水田に生える多年草。葉は細長い矢じり形をしている。花は白色で3個ずつ数段に輪生する。開花期は8～10月。仲間にはオモダカやクワイがあります。和名のあごなしが変化したもの。この「里山ピオトープ二俣瀬」では、蓮田の一番上部へ近くの休耕田より移植しましたが、かなり繁殖しています。

4. ピオトープ関連（ピオトープ周辺の案内）

— “一里塚の松”（車地 吉富 壮介 記）

ピオトープの横を1.5キロ進むと、道ばたに石碑が立っている。一里塚跡とある。縦1m、細いむすび型の自然石。ここに樹齢300年ともいえる巨松が立つ、というより、どっかと構えていた。幹は大人二抱え半の黒松、地元民は“一本松”と呼んでいた。夏は日陰に人馬が憩い、冬は雪のない木の下が、旅人の休み処となっていた。昭和50年、松が枯れはじめた。案じた百姓が支所（現市民センター）へ「何とか...」と訴えたが、「打つ手がない」と冷たい返事。松はタチマチ枯れ、骨だけになった。当時マツクイ虫の防除とかで、県も市も懸命にヘリを飛ばしていたが、この松にはシズクもかけてもらえなかった。腐った枝が落ちはじめ「通行に危ないから」と、切り倒したのが、市がさしのべた唯一の恩情だった。枯れて20年地元の昭和会が建てた石碑が「あれ」。

5. 会員の声

— 最近、行事が重なったり、私用や、体調不良等で、作業に参加する機会が減っていて申し訳なく思っています。ピオトープ造りを始めて一年余り、何とか全体的な形は出来あがった様な気がしています。我々人間がこうなってほしいという願望のもとと介添えをしてきましたが、これからより多くの動植物がどのような生活空間を作ってくれるか楽しみです。これから自然が評価してくれるでしょう。一つ気になるのが草原ゾーンと思っています。もともと、田んぼの土（土が肥えている。）が残った部分で、現在は、田んぼ・畑の草がほとんどである。私の草原のイメージは、カヤ、ツバナガヤ等が茂り、その間によく見ると、スミレ、キキョウ、カルカヤ、野菊、リンドウ、寒わらび等が生えているというようなイメージがしています。このピオトープ造りに参加し、今迄はほとんど感心がなかったが、最近は田んぼの土手や、堤防の草刈りをしていても、可れんな草花が目について来ま

す。先日もリンドウと寒わらびを見つけ廻りの草を刈らずにしておきました。草原ゾーンについて皆さんでもう一度考えてみたらどうでしょうか。(吉本 正 記)

6. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

- ツグミの大群が姿を見せました。ツグミが顔を見せると冬。この場所で耳を澄ませば、ウグイス、ヒヨドリ、ジョウビタキ、カワラヒワ、ツグミ、メジロの声が聞こえます。フィールドスコープが常設してあればいいと思います。スコープから見える世界は素晴らしいです。(11月17日 K.S)
- いしかわあやか いしかわりょうた 時々遊びに来ます。子供は大変 よろこんでいます。 また来ます。
- ルリビタキ juvenile 2羽 今季初認。ミヤマホオジロ多数。アトリ 30±羽。ゴイサギ幼鳥。常連、メジロ、オオジロ、エナガ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、シロハラ (11月23日 K.S)
- エナガ大群、コナラの樹界で採餌。ヤマガラ 口笛に反応して近くで見ることができた。ハイトカ 1羽。須賀河内川でアオサギが採餌中。(11月24日 K.S)
- 今日初めてここに来て、水車がすごい大きかったです。(11月25日 山口市陶 吉本まなみ) トンボをつかまえた。(11月25日 吉本朗大) 小さいメダカやトンボがいた。(11月25日 ガアラとアミダ丸)
- ミヤマホオジロ、ホオジロ多数。ルリビタキ 2羽幼鳥。ノスリ ビオトープ上空2回出現。シロハラ、ツグミ。(12月1日 K.S)
- メダカがいっぱいいました。今度、採りに来ます。by 沢太郎。P.S. 神様ががんばってください。(12月9日)
- ノスリ ビオトープ上を旋回。ハシブトガラスに追われて東方へ。ノスリは里山にお似合いです。ハイトカ 須賀河内川 横林に入る。マヒワ 群れでおしゃべりをするが姿は確認できず。ルリビタキ juvenile 天堤横で。メジロ・ヒヨドリ 多数。ホオジロ 多数 金属的な声でツツツ。ミソサザイ 天堤池横 地上 50cm。ツグミ・シロハラ NHK アンテナ付近。アオサギ・セグロセキレイ トープ内で餌を狙う 失敗。(12月9日 K.S)

7. 宇部西高等学校の礼状より

- 前略。先日はお忙しい中、大変寒い中、私達の為に時間をとっていただき有難うございました。私は、宇部西高校総合学科で造園や環境について学んでいます。庭や公園は、人の手によって造られますが、いかに自然を活かし、快適な生活空間を創造していくかが大きな課題となって来ます。そういう意味では今回のビオトープを基本とした公園づくりは私達に大きなヒントを与えてくれたと思います。この経験を今後の学習に是非、活かして行きたいと思います。本当に有難うございました。 草々。(県立宇部西高等学校 生徒代表 登 久美子)

8. 二俣瀬小学校の感想文より一部抜粋

- 「もちつき」 今日、もちつきは、どんな物をつかうだろうと、思ったら、むかしのもちつききをつかっていたので、すごいなと思いました。あんもちをつくって、まるもちをつくるとき、もちがあたたくて、おもしろかったし、ほめられて、うれしかったです。かがみもちが、大きくて、すごかったです。食べて、手づくりのモチは、おいしいなと思いました。手は、あつくなったけど、やわらかくて、とっても、たのしかったです。(かじ山 ひとみ)
- 「もちつき」 今日、公みんかんでもちつきがありました。モチは、あつくておとししました。服、くつ、かお、手に、かたくりこがついて、はだいろのはだじゃなく白人間になりました。いまでは、きかいをつかっているけど昔は、きねでやってたから手がつかれただろうなと、思いました。きかいは、見たことがあるけど、きねとかは、ほとんど見ていなかったから、いいたいけんになりました。あんこを、いれる時にもちがちいさくではいらなかったから、となりにいる人にきくと、やってくれて、とてもうれしかったです。おばさん、おじさんは、みんなえがおでにこにこしていました。あんモチは、とてもおいしかったです。(しげし あや)
- 「おもちを作ったよ」 きょう、おもちを作りました。ふれあいセンターでつきました。さいしょ、大きなおもちがきて、おばさんが、一つずつぼこぼこ大きな、おもちを小さくしていました。さわるとあつかったです。あんこを入れるのが広くしないといけなかったからむずかしかったです。下にいくと木のやつでドンドンおもちをついていました。むずかしそうでした。ぼくはやってみたかったです。すごい大きな音がきこえていました。(二年 田中 よしひで)
- 「もちつき」 今日、二、三、四時間をつかって、市みんセンターでもちつきをしました。ぼくたちのはんはさいしょに丸もちを丸めました。その後に、あんもちを丸めました。作っているとき、早く食べたくなりました。ボランティアの人は、ぼくたちがもちを丸めているとひびわれができたのでそこをなおしてくれました。あんモチは、あんこがびりでなくてよかったです。あんモチなどがんばってつくったからぜったいにおいしいぞ。(小さこ たかゆき)
- 「楽しいもちつき」 今日、エプロンを着て、公みん館でもちつきをしました。ぼくは五はんでした。さいしょに、公みん館へ行ってあいさつをしました。大きな声でできました。次に、もちを丸くしました。とてもおもちはあつたかかったです。うまくできたのでうれしいです。五、六ばんとしました。そして、外に出て、四、五、六年生がもちをつくのを見ました。みんなとても上手でした。そして、またおもちを丸めておいを言って帰りました。また、来年公みん館でもちつきがあればいいなと思いました。とても、もちつきをして楽しかったです。あんモチは、おいしかったので二つ食べました。家でもたくさんもちを食べたいです。ボランティアの方も手つだってくれたのでとてもうれしかったです。(おき原 あつし)
- 「もちつきたのしかったよ」 わたしは、おもち作りを、家で、やっています。毎年しています。さいしょに、もちをつくって、そのつぎ、もちを、つきました。わたしの家でつくのは機かいです。今日は、機かいじゃなくて、うすと、もちをつく木でやりました。初めてやりました。それで、上にあがって、もちをまた作りました。かおや、エプロンに、こながいっぱいつきました。

のけても、のけてものきませんでした。もちを作ってたのしかったです。（植村 裕美子）

— 「昔のもちつき」 今日、もちつきをしました。ふつうのもちつきではなくて、木のもちつき機でした。私は、あの、大きなうまみたいなもの、小さい板は見たことがあります。でも、本当の物があるとは思っていませんでした。私は、ぎゃく足でしていたと思います。少し力を入れると下に行って、きねが上に行きます。私が、おもちをこねるみたいなことをしたら、ちょっとこわいです。頭におちてきたらこわいからです。おもちを丸めるのも楽しかったです。でもあつかったです。またやりたいです。（吉本 菜美）

— 「たのしかったもちつき」 ビオトープでとれたもち米で、おもちを作りました。はじめから、うすでもちつきするのかなと思ったら、きかいでした。もちをもむとき、ぬくくて、きもちよかったです。でも、あんこをいれるとき、すごくあつくなりました。手がまっ赤になりました。もむとき、ひびがいっぱいはいったので、すこし力をいれてつぶしました。下にいったら、うすにもち米がはいっていました。わたしは、ならんでいました。やるとき、おもくて、きねがうすに、カチカチあたりました。でも、できてよかったです。二かいにあがって、まだおもちをつくっていたのでしました。あんこがはいっていなかったの、あつくありませんでした。学校にかえってたべたおもちは、とてもおいしかったです。（岡田 真実）

— 「もちつき」 今日、もちつきがありました。すごくおもちは、あつかったです。でも楽しかったです。さいしょにあんもちを作りました。あつくてもいっしょうけん命やったのでおいしそうなおもちができました。あんこがなくなったら丸もちを作りました。丸もちは、丸くすればいいだけなのでかんたんでした。次に外に行きねで四、五、六年生がおもちをついていました。きねは、ハンマーみたいでした。とってもすごかったです。さい後にかざりのおもちを作りました。上のみかんがすごくおいしそうでした。おもちつきはとっても楽しかったです。（まつなが こうき）

— 「もちつき」 今日、公みんかんでもちつきをして作り方いろいろなおもちのしゅるいが分かったりして楽しかったです。あんこもちや白もちいろいろおもちを作ってあのハンマーみたいのでおこめをたたいてもちになるってしりませんでした。公みんかんの人やボランティアの人がいそがしいなかもちつきにきてくれてうれしかった。学校に帰ってあんもちを食べてすごくおいしかったです。（まつ本 つばさ）

— 「私のはだ 1/2」 今日、思いもよらぬ 2、3、4 時間が、もちつきでした。（イエーイ）私は 1 回くらい家の手伝いでもちを作ったことがある、が、長さ 13 cm 横 8 cm 位のもちを食べてしまったのだーっ。（とも！びくっ！）そしておこられました。今日はなんと計 12 こ食べれるんだもーん。私は、ぶくうとふくれたもちを 2 回ばしっばしとたたきました。（＊ひどくない）そして、あんこをいれました。つつむように。2 こできて、ついに白いもち。くーるくーるまるめると...ひえーっ もちがしわしわになっていました。...見なかったことにしよう...。いい考えを思いつきました。まず もちを親ゆびと母さんゆびにいれ、ぐっとする。ふくれたら下のもちを中にいれる。（ぐい）つるびかの方法です。（原田 知代）

— もちつきだーい。おもちっておいしいよね。もちもちってか？で、今は、社会が、進んでいるので、手でもちをついたりなんかなくても、今は、ぐるぐる回転して、こねればいいのです。かんたんでしょ。でも、今かいは、昔のもちつき、「キネ」と「台がら」で、ちょうせん。でも、その前に、もちをまるめます。今年も、やるんですが、けいけんがあります。手をまるくして、こするようにすると...。できたー。それに、あんもちも、できました。そのあとも、丸くこねて、できた。そしたら、次はもちつき。じゅんばんをまったら、私はキネ。さらに、一番さいしょにつくの...。はずかしー。ペチペチ。なんだか、水ばら（おなか）をたたいてるみたい。そして、「力いれて、ついてるかー」て、いわれて、私はむきになり、ドンッたたくと、そこはうす。私は、そのとき、ゆでだこのようなかおです。あーはずかしい。でも、ほんとうに、ありがとうございました。（佐藤）（昔の道具を使って もちつきができましたね。先生もはじめて知りましたよ。）

9. 編集後記

— 12 月になりますと、毎年、取り上げられる話題に、その年のトップニュースがあります。世界的に見ると、今年のそれは不幸にも 9 月 11 日に発生した例の事件でしょう。日本では、小泉内閣の誕生か、内親王の誕生でしょう。私は、12 月 1 日の内親王誕生が相応しいと思います。お目出度いことがトップニュースになれるのは、現在の日本が平和であるという証拠です。さて、私を含めた会員の皆様のトップニュースは、やはり＜里山ビオトープ二俣瀬＞の進展でしょう。私の様な、月に一回程度（しかも午前のみ）しか参加しない不良会員でも、行くたびに姿を変えるビオトープを見るのは、いいものです。水の中、草の中、木々の様子、必ず思いがけない新しい発見が、あります。来年の＜里山ビオトープ二俣瀬＞は、更に姿を変えてゆきます。周りの整備も、具体的な話が進んでいるようです。ビオトープ本体は、与えられた環境に適合しながら、徐々に自らの環境を作り出してゆきます。来年の暮れは、どのような姿になっているのでしょうか。楽しみです。最後に一言。会員の、来年のトップニュースが、よい意味での＜里山ビオトープ二俣瀬＞になるように、出来る範囲で適当に頑張りましょう。（前田 歳朗 記）

里山ビオトープ二俣瀬 会報第8号（写真 1/2）



11月24日 植栽（山から）



11月24日 植栽



12月1日 植栽（山から）



12月1日 植栽

里山ビオトープ二俣瀬 会報第8号(写真 2/2)



12月8日 植栽



12月8日 植栽



12月15日 餅つき



12月15日 忘年会